

薬の豆知識



薬を正しく飲みましょう

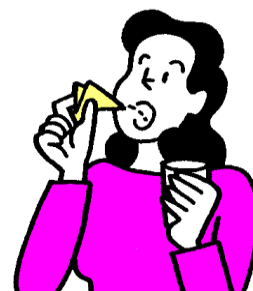
☆ 薬は正しく使って初めて有効で安全なものになります

- くすりの袋にかいてある内容をよく読みましょう。
- くすりによっては特殊な使い方をするものもあるのでしっかり確かめてください。
- 自分の判断で勝手に飲むのをやめたり、適当に飲んだりすることはやめてください。

☆ のみかた・使用法

服用する 1 回量、1 日の回数、服用する時間は指示されたとおりにお飲み下さい。薬が適正に効果を発揮するためには、量、回数、時間を守ることが必要です。指示どおりでないと効果が不十分であったり、副作用が出たりすることがあります。指示されている服用時間は次の時間を目安にして下さい。

- ◇ 食前・・・・・・・・・・食事の前30分
- ◇ 食直前・・・・・・・・・・食事のすぐ前に
- ◇ 食直後・・・・・・・・・・食事のすぐ後に
- ◇ 食後・・・・・・・・・・食事の後30分以内
- ◇ ねる前・・・・・・寝る直前か30～60分前



☆ くすりの飲み忘れについて

くすりの服用タイミングとして食後が多いですが、食後というのは食事が済んでから 30 分以内に服用する事を意味しています。が、人によっては 30 分後という事を意識して 30 分間待っている方もいらっしゃるようです。この待っている間にくすりを飲む事を忘れてしまいがちな方は、食事が済んですぐに服用する事をお勧めします。（一般的に食事の後すぐ服用した場合と食後 30 分に服用した場合とではくすりの作用にそれほど差がないと言われています。）

それでも、飲み忘れてしまった場合の対処法について今回はお話したいと思います。

★飲み忘れに気がついた時が、本来服用すべき時間より次回に服用する時間に近い場合→
忘れた分はとばして下さい。

★本来服用すべき時間からあまり時間がたっていない場合→気がついた時に飲んで下さい。
（ただし、だいたい等間隔で服用して頂きたいため、服用する時間が遅れた分だけ次回服用する時も遅らせて下さい。）

また、決して 2 回分をまとめて服用しないようにしましょう。

※これは一般的なくすりについての内容です。疾患やくすりによっては一概に上記の内容があてはまらない事がありますので、くすりを飲み忘れた事がありご心配な方は医師や薬剤師にご相談下さい。

☆ 薬の保管方法

- 保管の指示（冷所等）があるものはそのとおり（冷蔵庫等）に保管するようにして下さい。特に保管の指示がない場合には直射日光を避け、暖房器具から離れた場所に保管して下さい。湿度や光の影響



で薬が変質したり、効果が減弱するのを防げます。

- 誤って子供が薬をのんでしまわないように、子供の手が届かない所に置くという気配りが大切です。
- 袋から出した薬は、元の袋に戻すようにして下さい。のみ間違いが防げます。

☆ 今飲んでいる薬があれば医師や薬剤師に伝えましょう。

くすりには飲み合わせがあります。一緒に飲むと作用が強くなり現れたり、逆に弱められたりすることがあります。そのため複数の病院にかかっている方は、受診する際に今現在飲んでいる薬を医師に必ず伝えましょう。市販薬や健康食品についても買って飲んでいるものがあれば伝えてください。

☆ 副作用について

薬によっては予想外の反応が起こることもあります。何か変だなと感じたら（湿疹、かゆみ、めまい・・・）すぐにかかりつけの医師や薬剤師に相談してください。

☆ 薬を受け取ったら・・・

すぐにその場で薬を確認してください。

その際、薬について何かわからないこと不安に感じる事があれば、どんなことでも気軽にお尋ねください。

☆ ついいうっかり、くすりを包装シートのままのんでしまい、非常に危険な症状をひきおこす例があります。くすりは包装シートから取り出してのみ下さい。

☆ 薬が効くまでの道筋

口からのんで胃や腸に入ったくすりは、とけて主に腸から吸収され、肝臓を通して血管に入り作用点に達します。注射剤は、皮下、筋肉を通して、または直接血管内に注入され血液の中に入ります。坐剤は肛門に挿入し、腸の粘膜を通して血液に入ります。体の外側に使用するくすりの場合は別ですが、くすりは血液を通して作用点に運ばれるのです。

☆ 正しい使い方は？

内服

コップ1杯の水かぬるま湯といっしょにのんで下さい。

軟膏

手指をきれいに洗って、医師により指示のあった部位（症状のある部位）のみにお使い下さい。

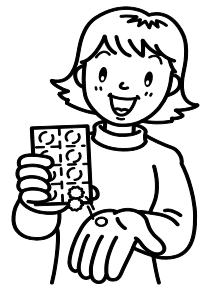
点眼剤

汚染をさけるため、容器の先端がまぶたやまつげに触れないようにして1滴して下さい。

さした後はまぶたを閉じ、まばたきをせずに1～2分間目をつぶって下さい。

坐剤

先のとがった方から肛門の奥へ見えなくなるまで入れて下さい。



☆ あなたに「処方されたくすり」は「あなたのためだけのくすり」です。

人間の身体は一人ひとり違う個性をもっています。「くすり」に対する反応のしかたは、当然人によって違ってきます。あなたに「処方されたくすり」は、「あなたのためだけのくすり」で他の人に合うとは限りません。みだりに人にあげたり、人からもらったりしてはいけません。